

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
尾道造船株式会社 尾道造船所
- (2) 事業所の所在地
広島県尾道市山波町1005番地
- (3) 業種
【3131】 船舶製造・修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年（2013年）度を基準年度とする。
平成27年（2015年度）から平成30年（2018年）度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： [エネルギー起源CO₂] = 使用鋼材量（千トン）
[非エネルギー起源CO₂] = ごみ焼却量（トン）

温室効果ガス の種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度 比(e))			
			平成 25年度	平成 30年度	平成 27年度	平成28年度
エネルギー 起源CO ₂	145.4	139 4	148.2 ▲ 1.9			
非エネルギー 起源CO ₂	0.674	0 100	1.182 ▲ 75.4			
メタン						
一酸化二窒素						
フロン類						
温室効果ガス 総排出量						
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	4074		4146 ▲ 1.8			
実績に対する 自己評価		エネルギー起源についてはガス、電力量が増え悪化した。 非エネルギー起源はゴミ焼却量が減り悪化した。				

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・ 燃料の使用量を削減	・ アイドリングストップの徹底
		・ ごみ焼却炉の廃止	・ 紙くず、木くずの再資源化の促進
2	電気使用量の削減	・ 事業所単位で電気の使用量を原単位で4%削減	・ 冷暖房温度の適正管理 ・ 昼休憩時の消灯を徹底 ・ 高効率照明器具の導入を検討 ・ 用水使用量の節約 ・ 空気圧縮機の消費電力を抑制するため、エアー漏れの削減

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	特になし	
2		
3		

○ その他の取組み（環境に配慮した実践的な取組み）

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量、排出量の削減	・ 両面コピー、裏面利用等
2	資源のリサイクル化を促進	鉄クズの回収量の増加 古紙の回収量を3%増加する	・ 産業廃棄物の分別を図り資源量を増やす

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

以 上